

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	空き家活用による、地域崩壊防止担い手養成モデル事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村役場 総務課 企画財政係 電話 0265-35-9050
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	170,000円 (うち支援金: 170,000円)

事業内容

人が住まなくなると長年放置された結果、背の高さほどの雑木や雑草が繁茂し、地域の問題となっていた荒廃空き家の敷地について、地元福島区住民の共同作業により雑木・雑草の伐採・抜根を行うなどの環境整備を行った。

敷地の整備後、村の「空き家情報活用制度」により空き屋の入居者が決定した後は、入居者がスムーズに地域にとけ込めるよう、地区の生活習慣や行事等について地区が継続的に入居者をサポートし、定住へとつながった。



【写真】敷地の環境整備がされた空き家

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

- ・長年に渡って放置され、地域の問題となっていた荒廃空き家の敷地の環境整備を地区住民自らの手で行うことで、地域の景観形成・環境保全が図られたほか、それまで見向きもされなかった空き家に若い年代の入居希望者が現れるようになった。
- ・入居者決定後は、生活習慣・行事等について継続的に地区でサポートすることで、入居者が地域にスムーズにとけ込めるようになり定住につながっていくほか、将来的には次代の地区の担い手となることが見込まれる。

【目標・ねらい】

- 中山間地区の空き家の整備による地区の景観形成・環境保全
- 空き家の活用による地区の担い手となる人材の定住促進

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

村内の中山間地区にはこれ以外にも多くの荒廃した空き家が点在し、村内各地区において大きな問題になっている。村では「空き家情報活用制度」により空き家の仲介を行っているものの、まだまだ未登録の空き家も多い。

今後は、村と村内各地区でさらに連携を深め、地区内の空き家のリスト化を行うなどさらに詳細に実態をつかんだ上で、地区と協働して空き家周辺の環境整備を実施したり、場合によっては空き家所有者へ管理について注意喚起を行うなど、様々な方法で空き家に関する諸問題に取り組んでいきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

129  
2-80